

# 令和3年度 第2回瑞浪市教育委員会点検評価委員会

日時:令和3年8月27日(金)13:30~15:55

場所:瑞浪市役所 4階 全員協議会室

## 出席者

委員 全員出席(6名)

事務局 事務局長、教育総務課長、総務係(2名)

説明者 事務局次長(学校教育課長)、学校教育課課長補佐、教育推進係長、社会教育課長、社会教育係長、生涯学習推進係長、芸術振興係長、スポーツ文化課長、スポーツ文化課課長補佐、スポーツ振興係長、文化振興係長

## 1 委員長あいさつ

心配していた新型コロナウイルスの感染がさらに拡大し、本日、岐阜県においても緊急事態宣言が発令されました。気を引き締めていきたい。

## 2 議事 進行:委員長

令和3年度(2年度事業)みずなみ教育プラン・後期計画の施策の評価について

【基本目標2】生涯学習推進係長、社会教育係長説明

施策1	多様な世代に対応した生涯学習の内容充実
委員	指定管理者制度は具体的に何をしているのか。
係長	民間に公民館の管理を委託している。館長の仕事まで委託することが今までと異なる。
委員	公民館の生涯学習の充実のために制度を活用しているということか。
委員	民間に委託することで活動自体は前より劣ることなく経費を削減できる制度である。
委員	釜戸公民館の第4期指定管理者更新というのは人が代わるのか、それとも期限があつてそれを更新するということなのか。
係長	期限の5年間が経過するのでそれを今回更新する。
委員	人は変わらなくて問題ないのか。
係長	今のところ問題はない。
委員	各公民館の目標は基準があるのか公民館長が決めているのか。
係長	市の実施計画で目標を立てている。
委員	数にかなり差があるがそれはなぜなのか。
係長	令和元年度の実績だけでなく、5年前の実績から目標を立てているのでずれが生じている。
委員	図書の貸出冊数が目標より少ないのはなぜか。
係長	コロナの影響と2か月間休館していたからだと考えられる。
評価	委員会評価 A (コロナ渦ということを加味すべきかどうか判断に迷う部分はある。)

施策2	地域での子育てに係る学習環境の整備
委員	webでの参加をしたが、その場であれば集中して聞くことができるが、家では、他のことも気になり集中できなかった。web開催も今後の課題と思った。
評価	委員会評価 A

施策3	高齢者の活躍の場づくり
委員	日吉で、コロナ対策をして行っただが、マレットゴルフ交流会等交流することは、子どもにとっても高齢者にとってもいいことだと思う。
評価	委員会評価 A

施策4	公民館・図書館等による人材発掘と育成
委員	読み聞かせは講師になるのか。
係長	ボランティアになる。
委員	コミュニティ・スクールを行うにあたって講師をお願いすることはできるのか。
係長	講師料が必要になるが依頼できる。
委員	依頼する場合は直接するのか、それとも中央公民館を通してやるのか。
係長	各地区公民館での対応となる。
委員	講師料はどのように決まっているのか。
係長	市では、基準が決まっているのでその金額で交渉している。
評価	委員会評価 A

【基本目標3】 スポーツ文化課長、スポーツ振興係長説明

施策1	スポーツの場の充実
委員	公民館と学校との使用料に差があり、学校の使用料のほうが安く、公民館の利用を控えることがある。使用料等改定の際には、市として統一的に使用料を見直し、公民館を利用しやすくしていただきたい。
委員	除草剤を使うことに対して健康への影響はないのか。
係長	除草剤は、子どもが遊ぶ砂場や遊具の近くではなく、陸上競技場フィールド内や周辺で使用している。
委員	過去、市民体育館で卓球台の購入が行われた際、その仕様について要望し受け入れてもらったが、卓球台を扱うメーカーでないためか、型の異なる使いづらい卓球台が購入されてしまった。市内中学校体育館の備品購入の際では、学校長から意見を求められ、とても使いやすいように整備していただいた。体育館の大規模改修について、利用者が使いやすい施設になるような意見交換の場を設けていただきたい。市民体育館の第1競技場では競技者と観覧者が一体となった大会開催を行うために、大規模改修時は観覧席を設けていただきたい。

委員	学校クラブの活動の状況は把握しているか。クラブ活動をする生徒が減っていると聞くと、どんな状況か。
課長	クラブ活動の団体は学校から手が離れており、専門の指導者によって学校教育外で行われている。体育館等の使用の取り扱いは、スポーツ少年団とクラブの利用はほぼ同じ対応をスポーツ文化課はしている。コロナの影響でやりたくてもできない、保護者が参加させたくないなどのご意見はあると思うが、スポーツ文化課としては積極的に使用を勧めていきたいと思っている。
委員	市有スポーツ施設を利用するのに、スポーツ少年団は利用料がかからないが、なぜクラブはかかるのか。部活の延長線上であれば無料でもいいと思うがどうか。
課長	まずは、クラブ活動については部活の延長線上でもあり無料で使えるので、優先して学校開放施設を使用していただき、市有スポーツ施設の使用料については今後見直し検討していく項目の1つとする。
委員	スポーツ少年団の登録制度が変わり登録できなくなった団体に不利益が生じるのはおかしい気がする。市として何か対策を考えてほしい。
課長	一番足かせになっているのは、指導者の資格の有無の件だと思う。指導者の認定にあたり努力されスポーツ少年団として登録した団体とそうではない団体との優遇の線引きは難しいところではあるので、今後検討していくところかと思っている。
委員	成果指標は目標に達してはいないが、コロナ禍の特殊背景を踏まえた上で、事業は適正に行われたと考えられる。
評価	委員会評価 A

施策2	スポーツの機会の充実と魅力の発信
委員	令和3年度に延期されたねんりんピックは中止になったのか。
係長	中止の方向で調整が進められている。
委員	世代間交流で小学生のスポーツ交流は実施予定があるのか。
係長	11月に予定している。
委員	昨年度の点検評価委員会の意見を反映し、トップアスリート交流事業に代わって世代間交流事業を実施されるとのこと大変うれしく思っている。
委員	成果指標は目標に達してはいないが、コロナ禍の特殊背景を踏まえた上で、事業は適正に行われたと考えられる。
評価	委員会評価 A

施策3	スポーツ推進委員の活用
委員	スポーツ推進委員は組織的に教育委員会の下にあって、体育協会とつながっているということはないのか。
係長	教育委員会の元にあり、体育協会とは別組織になる。

委員	コロナで交流会が中止になったということだが、以前はどのような活動をしていたのか。
係長	みんなのスポーツ交流会でティーボールや野球、ふらばーるバレーボールの大会の運営をしていた。また、各地区に推進委員がいるので、体育協会等とも連携をとりながら、地域のスポーツ推進の活動を行っている。
委員	推進委員はどうやって決められるのか。
係長	各地区のスポーツに関わっている人の中から推薦していただいている。
委員	AEDの管理はどうしているのか。
課長	市内のAEDは、消防本部で一括管理しており、消耗品等の交換が適切に行われている。
委員	健康づくり体操の動画の再生数はどうか。
係長	再生数は把握していないが、スポーツ推進委員自ら制作した分かりやすい動画なのでもっと周知していきたい。
委員	現在はどのような周知をしているのか。
係長	広報みずなみ(令和3年4月1日号)で動画の配信について掲載し、それ以後は、自宅でできる健康づくり体操の動画を市スポーツ・体育館のホームページでお知らせしている。
評価	評価委員会 B

施策4	体育協会・スポーツ少年団・クラブとの連携
委員	講習会が中止になったのになぜ登録指導者が増えているのか。
係長	指導者スタッフとして申請された方が増えていたので増加している。
委員	コロナで講習会が2年間中止となっているがスポーツ文化課としてなにか対応は考えているのか。
係長	現在は講習会の開催や中止といった連絡の抜けがないようにしている。
委員	指導者として臨時的に認める余地はないのか。
係長	講習会が開けないということで暫定的に今までのやり方で行えるようになっていたので、直接的な影響は出ていないと考えられる。
委員	ボランティアとしての指導者には、講習会の参加等で相当な金銭的負担がかかっており、その負担を軽減することがスポーツ指導者の人員確保の支援につながると考える。
委員	スポーツ少年団はどのようなものがあるのか。
係長	19団体あり、野球、ソフト、柔道、バレー、テニスといったものがある。
委員	参加人数は減っているのか。
係長	400人ほどいたが昨年度は310人ほどに減った。
委員	スポーツ少年団に学年の縛りはあったか。
係長	小中学生が対象だが、現在の団員は小学生が中心で、その中でも3年生以上が多い。
委員	スポーツ少年団の登録団体と非登録団体とではコロナ禍の中での活動状況が異なっている。市として、少年団の登録の有無に関わらず諸団体の活動を把握し、平等に活動するように調整する必要があるのではないか。

課長	コロナ感染拡大防止のため、学校開放施設の利用時間は、登録団体すべて同じ扱いとしていたが、スポーツ少年団は独自のより厳しい規制をかけている場合もあった。なるべく同じスポーツを行う団体であるので平等な条件下で利用できるように働きかけたい。
委員	スポーツ少年団のみならず、特に中学校のクラブとの関わりを深め、子供たちの体力向上や競技力向上を目指していただきたい。
評価	評価委員会 B

【基本目標4】 文化振興係長、芸術振興係長説明

施策1	まちぐるみで守る文化財とその活用
委員	将来に向けて文化財を守るために標柱を立てるなどの計画はあるのか。
係長	今のところ、県指定文化財は県から標柱の支給を受けることも可能ですが、教育委員会が市内にある標柱の状態を把握し管理するのは難しい状況です。基本的に指定文化財には所有者がいるため、標柱や看板を立てる際に市補助金を交付している。なお、市として計画的な標柱や看板の整備計画はありません。
委員	各地区や個人からの文化財保存の相談は受け付けてもらえるのか。
係長	指定文化財について相談があった場合には対応している。また、歴史案内ボランティア団体の方々にも文化財の良好な管理をするため、可能な範囲で対応していただいています。しかし、未指定の文化財については市として補助することは難しい状況にある。
委員	史跡探訪コースとして過去に設置された標柱はそのまま消えていくのか。
係長	これらの標柱は、昭和 50 年代に教育委員会により史跡探訪コースの案内標柱として設置されたもので、更新するのは難しい状況にあり、引き続き標柱を設置する計画はありません。
委員	そうなると地区やボランティア団体を中心に地域の文化財を守っていくしかないということか。
係長	お願いします。
委員	古文書の読み下しの人材はどうなっているのか。また、読み下しのための AI 機器の導入は考えているか。
係長	読み下しは、現在、市内在住の方1人、市外在住の方1人、計2人で行っている。AI 機器の読み下しの性能や機器の価格については把握していません。大学への委託という方法もあるが、できれば、地域の歴史に興味をもってもらいたくためにもぜひとも市民の方にお願ひしたいと考える。
評価	委員会評価 A

施策2	市民が歴史・文化・芸術に触れる機会の充実
委員	意見なし
評価	委員会評価 A

施策 3	文化施設の充実
委員	意見なし
評価	委員会評価 A

施策 4	後継者育成、文化芸術活動団体の支援
委員	補助事業の3件は具体的に何か。
係長	半原操り人形浄瑠璃保存会、鶴城笹踊り育成会、美濃歌舞伎保存会の3件でしたが、鶴城笹踊りは昨年度、活動を休止していたので、交付は2件となりました。
委員	後継者育成の状況はどうか。
係長	補助金を交付した3団体はすぐに活動が危うくなることはないと思う。他にも補助金を申請せずに活動している団体もある。しかし、今後、10年先20年先となると各保存団体の活動が継続していくかどうかは判らないのが現状である。
評価	委員会評価 A

【基本目標 5】 学校教育課長、教育推進係長、社会教育係長、生涯学習推進係長説明

施策 1	連携による家庭の教育力の向上
委員	電話相談の441回はどのような内容なのか。またどのような傾向があるのか。
係長	不登校関連が多く、例年と変わらない。
委員	ブックスタートの具体的な様子を教えてほしい
係長	親子で絵本をひらく「体験」と、絵本2冊、アドバイスブックレット等をプレゼントしている。
委員	小学校で行っている活動は何か。
係長	ブックトークである。テーマに沿って本を紹介している。
委員	テーマは誰が決めているのか。
係長	基本は図書館の職員が決めている。小学校で行うものは、先生からのリクエストがあれば対応している。
委員	夏休みが終わり、学校が始まるということでクラスターを心配する問い合わせはないのか
係長	市政直行便に数件来ており、回答している。
委員	一市町村長に判断を任せるとするのは責任の放棄ではないか。
課長	文科省等から子どもの学びを止めない、保証する、感染症対策を徹底する、学校を一斉休校しないということで通知がきている。教育委員会としても、再度感染症対策を徹底し、子どもの学びを止めず、オンライン授業の準備もしていく。
委員	ブックスタートは、4か月児健康診断で配布しているとのことだが、全員に配れているのか。
係長	298組の対象があり、282組に配布した。
評価	委員会評価 B

施策 2	連携による地域の教育力の向上
委員	学校評議員制度はどうなったのか。
係長	学校評議員制度がコミュニティ・スクール制度に変わった。
評価	委員会評価 A

～15:55